

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

快適☆宮崎スギの家

グループの名称

宮崎長期優良住宅建築促進協議会

直近採択グループ番号

06-0058-0785

(グループ代表者)

代表者名

柳田 力男

代表者印

代表者所属先

都城森林組合

代表者所在地

宮崎県都城市早鈴町5085番地

代表者電話番号

0986-23-8787

(グループ事務局)

事務局事業者名

都城森林組合

事務局担当者名

小牧 俊光

印

事務局郵便番号

885-0055

事務局所在地

宮崎県都城市早鈴町5085番地

事務局電話番号

0986-23-8787

事務局FAX

0986-23-8019

事務局担当者E-mail

sinrin46@giga.ocn.ne.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		47	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	47	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	4	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		12	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	12	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸	
						上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		9	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	9	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		6	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	<p>工務店の会員数より下回った採択戸数の場合は、抽選とする。 工務店の会員数より上回った採択戸数の場合は、1戸は各工務店に配分する。残りの戸数は抽選で配分する。</p>								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	30	戸	交付申請戸数	28	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	28	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	7	戸	交付申請戸数	7	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	7	戸	
優良建築物型									
採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適☆宮崎スギの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県内及び産直住宅販売先等
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 宮崎長期優良住宅建築促進協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0058-0785	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	宮崎県の気候に適した宮崎県産材を使用した在来工法とする	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	主要構造材の規格を大寸化するとともに、オビ杉の粘り強い特性を生かして耐震化を図る	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	高温多湿の気候条件に対応するため、押入や収納庫の壁を極力板壁仕様とし、宮崎県産材の無垢材の利用を推進する	◎
④①～③の背景	宮崎県はスギの生産量が全国一で、木資源は豊富である。主要構造材の寸法を大寸化することで災害に強い住宅建築が可能で、地域材の需要量の拡大を図る。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	立木伐採後の再造林率が低下しているため、「伐ったら植える」の一環システムを推進し、木材の持続した安定供給の確立に取組むことがグループ事務局である森林組合が目標とするところである。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 主要構造材は巾寸4寸以上とする	◎
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達共同化	■ 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 施工部会による共通ルールの確認、検討	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工部会で検討された内容を事業説明会や研修会等で構成員に情報の提供を行う	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 「快適☆宮崎スギの家」の施工基準	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 「快適☆宮崎スギの家」の施工基準による工事記録書のチェック	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 上棟時や完成内覧会等でのPR	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各事業者とも変則的ながら実施しているが、グループとして事業説明会等で一層の取組を支援する	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 技能試験の開催日時等の情報を提供し、資格取得を支援する	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 加入している事業者が大半であるが、事業説明会等で加入推進を図る	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 安全作業に対する意識の高揚を図る	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適☆宮崎スギの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県内及び産直住宅販売先等	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 宮崎長期優良住宅建築促進協議会	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0058-0785		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄履歴情報のメンテ整備基準		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	■ ない □ ある → 内容:	
	①-2 情報サービス機関の活用	■ ない □ ある → 内容:	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	■ ない □ ある → 内容:	
	②-1 点検の共通ルール	□ ない ■ ある → 内容: 住宅普及協会の「住まいの管理手帳」の基準	○
	②-2 補修の共通ルール	□ ない ■ ある → 内容: 住宅普及協会の「住まいの管理手帳」の基準	○
	②-3 点検補修実施の確認手法	■ ない □ ある → 内容:	
	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない ■ ある → 内容: 「住まいの管理手帳」の基準実施方法を施工部会で開催	○
	③-2 DIY体験会等の実施	■ ない □ ある → 内容:	
	③-3 その他の相談会等の実施	□ ない ■ ある → 内容: 上棟時や内覧会等で実施	○
④ 維持管理委員会等の設置	■ ない □ ある → 内容:		
⑤ その他の維持管理の手法	■ ない □ ある → 内容:		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	■ ない □ ある → 内容:	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない □ ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない ■ ある → 内容: 事業説明会開催時	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	□ ない ■ ある → 内容: 「快適☆宮崎スギの家」で定めた工事記録書の提出	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない ■ ある → 内容: 実績報告時に提出された工事記録書を事務局で確認	◎
	③-1 需給計画の策定	■ ない □ ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	■ ない □ ある → 内容:	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	■ ない □ ある → 内容:	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 36 今年度の参加目標人数 3
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 26 今年度の参加目標人数 2	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		□ ない ■ ある → 内容: 技術講習会の開催日時等の情報を事業説明会等で提供し、参加を促す	◎
c	① 新たな技術等の導入	■ ない □ ある → 内容:	
	② 新たな技術等の開発	■ ない □ ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適☆宮崎スギの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県内及び産直住宅販売先等																									
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 宮崎長期優良住宅建築促進協議会	(結成年) 2012 年																									
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0058-0785																										
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																											
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																											
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																									
a	地域材利用に関する																										
①	共通 ルール(必須)	主要構造材は寸4寸以上とし、宮崎県産材合法木材を80%以上使用する 2次部材(棟木・間柱・筋違・垂木等)は集成材を除き宮崎県産材合法木材を使用する	◎																								
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上	◎																								
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																								
	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																								
	梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																								
羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																								
造作材	枠材、廻縁等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																								
板材	壁板、床板等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																								
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に 関する補足説明																										
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原木市場や原木供給業者と地域材の出材状況の情報交換	◎																								
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原木市場や原木供給業者と地域材の販売量、価格についての情報交換	◎																								
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 原木市場等からの地域材の需要動向の情報交換	◎																								
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																									
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																									
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																									
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																									
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																									
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																									
d	① 地域の伝統的なデザイ ンを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																									
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 梅雨時の防湿対策として押入等の壁を板壁仕様の推進	◎																								
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																									
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																									
	その他 ※上記項目以外でグループ自 身のルール・目標があれば記入 してください。	違法な伐採による木材の流通を防止するため、素材生産業者、原木市場や行政等と連携し、伐採現場の巡視を行い、合法木材の流通に努める	◎																								
カ. その他																											
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																									
東日本大震災の復興に資する取組	特になし																										
平成28年熊本地震の復興に資する取組	原木や木材製品の不足による供給要請があれば各業者と連携し積極的な支援を行なう	◎																									

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 快適☆宮崎スギの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県内及び産直住宅販売先等
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 宮崎長期優良住宅建築促進協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0058-0785	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>認定低炭素住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域材利用に関する共通ルールは長寿命型と同様とし、宮崎県産材合法木材を使用する ・高性能断熱材の使用により暖房、冷房の換気負荷を削減する ・内壁、外壁、床板は地域材使用の板壁仕様を推進する ・照明設備は白熱灯を廃止し、LED及び蛍光灯とする ・高効率エアコンを導入する ・給湯設備にはヒートポンプ給湯器を使用する <p>ゼロ・エネルギー住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域材利用に関する共通ルールは長寿命型と同様とし、宮崎県産材合法木材を使用する ・外皮性能については、平均熱貫流率UA値を0.6以下とし、高性能断熱材の使用により暖房、冷房の換気負荷を削減する ・照明設備は白熱灯を廃止し、LED及び蛍光灯とする ・高効率エアコンを導入する ・給湯設備はヒートポンプ給湯器を使用する ・太陽光発電により、高い省エネルギー性を実現し、年間の一次エネルギー消費量を概ね0とする 		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。